

### 動物-3 ヤイロチョウ

頭の上は茶褐色<sup>ちやかつしよく</sup>、顔の中央に黒色の太い線、背と翼の一部は青緑色<sup>のど</sup>、喉は白色、腹の中央は鮮紅色<sup>せんこうしよく</sup>など8色の羽色を持つといわれるところからヤイロチョウと呼ばれます。

5月下旬、本州中部以南に渡来する夏鳥<sup>とらい</sup>で、「ホヘン・ホヘン」と大きな声で2声ずつ鳴きます。宮崎県では延岡市行藤山<sup>むかばきやま</sup>、綾町川中<sup>かわなか</sup>、宮崎市高房台<sup>たかふさだい</sup>、宮崎市加江田溪谷<sup>かえだけいこく</sup>、高



原町御池野鳥の森<sup>はるちよう み いけ</sup>などで記録があり、御池では繁殖<sup>はん</sup>も確認されています。林床部のミミズを餌とし、ふわふわとスポンジのように林床部のよく発達した深い照葉樹林<sup>しょうようじゆりん</sup>に生息します。

近年、個体数が減少しており、国の絶滅危惧種<sup>ぜつめつ き ぐしゆ</sup>に指定されているとともに、宮崎県野生動植物の保護に関する条例<sup>じようれい</sup>において希少野生動植物<sup>き しょう</sup>に指定されています。